

# 2016年1月 松本市入山辺地区での倒木被害 docomo<sup>NTT</sup>

2016年1月29日、長野県で降雪・降雨が続き、松本市入山辺地区では多数の倒木によって孤立が発生するなどの被害が発生した。ドコモの基地局にも停電の長期化や伝送路の断によってサービス中断を伴う被害が発生したため、災害復旧機材を用いて早期のサービス回復に取り組んだ。

## 降雪に伴う基地局への被害

松本市入山辺地区では、雨滴が樹木に付着して凍結する「雨氷」によって倒木が多数発生し、道路が寸断されて地域住民や観光客の方々が孤立する状況となった。

ドコモの基地局も、この倒木に伴う停電および伝送路の断によって、付近の温泉旅館である扉温泉をカバーする基地局やその他周辺の基地局の一部がサービス中断に至った。

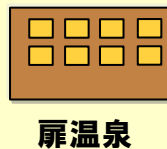
扉温泉付近までの道路(1/31)  
倒木により車両での復旧機材運搬が困難な状況。



## 扉温泉のエリア復旧

扉温泉をカバーする基地局は、停電と伝送路の断によってサービス中断となり、周辺基地局からの救済もできない状況であった。そのため、可搬型の衛星エントランス基地局を用いて仮設の伝送路(衛星回線)を設置し発電機で電力を確保してエリア復旧を実施した。

衛星回線の設置には、南上空にある通信衛星を捕捉するためにアンテナの角度調整が必要であるが、現地は南上空が開けた場所が殆どなかったため、繰り返しの調整作業を要した。



扉温泉

衛星回線用のアンテナ  
(南上空にある衛星を捕捉)

携帯電話の基地局アンテナ  
扉温泉に向けて電波を発射し、  
エリアカバーを実施。